

## 「政策・制度要求と提言」を申入れ

連合花巻北上地協は11月18日(月)北上市・花巻市・西和賀町へそれぞれ「政策・制度要求と提言」を提出致しました。

この政策・制度要求は、連合岩手の方針及び当地協加盟組合からの要望等を推薦議員との意見交換を開催しながらまとめた物で、「労働者施策」、「社会福祉、保健医療」、「教育の拡充」、「安心、安全持続可能なまちづくり」、「ハラスメント対策」等、北上市には36項目、花巻市には33項目、西和賀町へは32項目を要求。

2020年度予算をはじめ具体的な政策に反映していただき、市民・町民生活の安定と質の向上、活力ある市政・町政の実現に向け理解を求め、申入れを致しました。

この申入れに対して高橋北上市長からは「時宜を得た提案が多い。企業が進出する中、インフラの安全・安心が必要。教育の拡充など是非参考にして、施策に反映させたい」として対応いただきました。



花巻市においては推薦議員の若柳議員、阿部議員、照井議員が出席のもと申入れを行ない、上田花巻市長からは、最低賃金について花巻の中小企業は相当苦しいと思うが、みんなの生活が良くなり経済自体が良くならないとどうしようもない。賃金を上げていく事は大事だが急激だと中小企業は大変だと思うのでその辺を考えながら判断していく必要があると思う。

包括的民間委託については説明会を開催しながら、十分話し合い、納得頂かないと出来ないと判断している。

祝日の預かり保育については、保育士不足で保育士の確保に努力しているが、ギリギリの所でやっているもので、難しい。また、医師不足も相当深刻であり、特にも産婦人科については岩手県においても厳しい状況、産婦人科医の確保も必要だが、養成自体を考えて行かなければならない。として考えを述べられました。

西和賀町においては、人口減少により除雪の人員確保に苦慮している。雪合戦等の新スポーツについては、町としてもこの時期は宿が一杯になるので、引き続き宣伝し、町の魅力発信に努めていきたい。として要請書を受理されました。

各自治体からは12月末までに書面での回答を頂く予定です。

